

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	お茶の水女子大学	整理番号	J - 1
拠点のプログラム名称	ジェンダー研究のフロンティア		
中核となる専攻等名	ジェンダー研究センター		
事業推進担当者	(リダー) 戒能 民江 外15名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は日本社会、国際社会が抱えるさまざまな課題に対し、ジェンダーの視点からの解明を行い、日本における男女共同参画社会の実現のみならず、アジアから発信し、世界のジェンダー研究・教育に資する「ジェンダー研究のフロンティア」形成を目的とする。具体的には少子・高齢社会の到来、性に関わる人権侵害、生殖・医療技術の急速な展開と法的・社会的対応の遅れ、メディア・リテラシーの未成熟など日本社会に顕著な問題のみならず、世界的な経済格差の拡大、文化原理主義の台頭による自由の抑圧、紛争下での暴力等に伴うジェンダー問題を扱う。本拠点は「政策と公正」「少子化とエコノミー」「身体と科学・医療・技術」「理論構築と文化表象」の4班で編成し、社会/文化分析、理論追究をふまえた政策化への新たな知見を提示し、女 家族 地域 国家 のグローバルな再構築、および次世代のジェンダー研究教育、男女共同参画社会の担い手の育成という成果をもたらす。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>ジェンダー研究を学際的に推進するという目的が明確で、しかもこれまでの研究および教育上の貢献も高く評価できる。国際的な協力、研究・教育面での情報や成果を共有するための発信能力、若手研究者の育成計画も意欲的に計画されており、世界的な拠点、とくにアジアにおけるジェンダー研究の拠点として、今後、十分な「フロンティア」性を発揮されることが期待できる。</p>			